

環境保全のボランティア体験講座 2025 講座レポート

自然環境の保全にちょっと気になっている人が、実際に活動地で参加体験できる大人気の講座が、今年度は19名でスタートし、第1回目の座学講座は6月8日(日)に大阪南港 ATC グリーンエコプラザの企画展示ゾーンで開催しました。

右下の写真は冒頭の当協会松本理事長挨拶の様子です。
このシリーズ講座の開講も5年目になるということで、講座の参加に対する感謝と受講生への労いの言葉を述べました。



そして司会による講座の趣旨や流れを説明後、基調講演Ⅰとして「衰退する大阪の生物多様性～チョウたちとまもる里山～」を、大阪府立大学名誉教授の石井実先生にご講演頂きました。



石井先生は、生物多様性や里山林の基本的な話から、外来生物の話をはじめ、石井先生の専門とされている蝶と森林の関係は人が手を加えるとどうなるか、講座で訪れる予定の能勢町にある「三草山」などの生物多様性を例に、この日の参加者14名に向けて解説されました。また、民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域、「自然共生サイト」が4月から法制化されたなど、最新の情報を分かりやすく話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

基調講演Ⅰ最後の質問コーナーでは、受講生側から質問が出なかったの
で、事務局の方から先生のご講演内で話題になっていた特定外来生物の
クビアカツヤカミキリの、大阪府主催の捕獲大会のイベント(右写真:参加
者募集チラシ)を少し掘り下げて口頭でご紹介しました。また、これも先生
のご講演内で話題になっていた特定外来生物のナガエツルノゲイトウにつ
いて、前年度の受講生により駆除された時の写真が募集チラシの中にあ
るなどを話し、今年度も皆さんがその外来植物の駆除体験をされる可能性
があるとの旨お伝えしました。



さて、少し休憩を挟んで次の講演です。

基調講演Ⅱとしまして、環境保全のボランティアとはどういったものか。どういった意義があるの
か。ということ、World Seed 代表理事岡見厚志さんより「環境保全のボランティアとは」と題し、お
話をして頂きました。



岡見さんは、『ボランティアには「自主性」「社会性」「無償性」があり、対価についても様々なもの
がある。この講座に参加することで何を得たいか、考えてみて貰いたい。』と述べられ、前後に座っ
ている人で話し合ってもらい、その後一部の人には発表してもらう時間を作られました。



後半はアイスブレイクの時間です。これから始まる現地での保全活動を前に、共に活動していく仲間と事前に交流を行うことでまずは仲良くなってもらえるよう促します。

「4つの窓」という手法を用いて自己紹介をして貰い、更にお互いの趣味嗜好を知って貰えるよう、左下の写真のような内容を、折り目を付けた A3用紙に記入、その後 3 つに分けたグループ内で共有し合いました。



このグループは、これから始まる講座で別れて活動する時の班でもあります。メンバー同士、様々な所属、年代の人達が、自分の所属や趣味嗜好を共有し合い、会話に花を咲かせていました。参加者の皆さんは、有意義な時間を過ごしました。



その後、一度班のメンバーを入れ替えて再度共有、終わったところから壁に紙を貼り出してもらいました。



下の写真は参加者で行った記念撮影です。グリーンエコプラザのスタッフの方に万博公式キャラクター「ミャクミャク」のぬいぐるみが手渡され、カメラマンの合図とともにニッコリ笑顔。これから、様々な所属や年齢層の垣根を越えたこのメンバーで、受講生たちのボランティア活動の学びが始まります。



左下の写真は、その後の休憩中にそれぞれが書いて貼り出した4つの窓を眺める受講生たち。スタッフもですがどんな人たちが参加されているのか興味津々です☆
休憩が終わると、次におおさか ATC グリーンエコプラザのスタッフの方に、展示物の紹介をしていただきました(写真右下)。



複数の大学で非常勤講師をされ、SDGsについて著書も出されているスタッフ下司さんのユーモア溢れる各ブースでの説明を、受講生は食い入るように聞いていました。

また、下の写真右端は、万博記念会場を見渡すことのできる部屋から夢洲の様子を眺望している様子です。天気があまり良くなく霞んでいたものの、巨大な木造建築の建物が見えました。



その後、「次回告知」と「受講についての注意事項」や「持ち物諸注意」、「活動中の危険生物」などについて事務局連絡をしました。

最後は環境事業協会環境推進部の吉安部長より、締め挨拶がありました(写真左)。その中で、弊社運営の旅行業に関するイベントのご紹介もさせていただきました。

講座が終わり回収したアンケートでは、以下のような講座の構成に関する感想や、学びに関する前向きな回答が寄せられました。

- ・説明の時間や深さもバランスよく、おもしろかったです。
- ・もっと積極的に環境について実際の体験をもとに学びたいです！この機会を機に様々なボランティア活動してみたいです。
- ・生物について詳しくったり、高い動機があったりする人が多く、その人たちから、しっかり学んで行動していけたらと思う。

そして以下のように今後の参加に関し、期待感溢れる回答も多数寄せられました。

- ・年齢・大学関係なく自然でのボランティアを通して仲良くなりたいです！
- ・今回お休みだった人も含めて、参加者全員と話してみたいです!!よろしくお願いします!!
- ・今回の説明を介して、このボランティアに参加して良かったと思いました。残り合計7回の活動も楽しみつつ積極的に体験したいと思います。
- ・知らないことがたくさん知れそうで楽しみです！よろしくお願いします！

以下のように、活動地の今後が楽しい回答も寄せられ・・・

- ・お力になれるよう頑張ります！よろしくお願いします！

皆さんのこれからの活躍が期待されるはじまりとなりました。